

平成 25 年 9 月 24 日
会 津 若 松 市

オランダ Amsterdam Economic Board（アムステルダム経済委員会） と会津若松市のスマートシティ推進にかかる連携について（ご報告）

本市におきましては、「健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境といった市民生活を取り巻く様々な分野での結びつきを深めながら、将来に向けて、持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できるまち、『スマートシティ会津若松』」の実現に向けて、「スマートシティ会津若松推進会議」を設置し、必要な取組の検討を進めているところであります。

こうした中、今般、世界でも有数のスマートシティであるオランダのアムステルダムにおいて、スマートシティ・プログラムを推進している Amsterdam Economic Board（アムステルダム経済委員会）と、スマートシティに関する成果や知見の相互共有を行いながら、連携した取組を推進することで合意いたしました。

本市におきましては、これまで、国の「環境未来都市」の選定を受けるなど、日本における「スマートシティ」の先進都市である横浜市と連携した取組を進めてきたところであり、本市の持つ様々なポテンシャルを最大限に活用し、より堅固に「持続力と回復力のあるスマートシティ会津若松」を目指すため、国際的な先進地域等との連携を模索してきた経過にあります。

この合意につきましては、こうした経過の中で、アムステルダム経済委員会と互いの目指すべき方向性の一致がみられたことから、実現の運びとなったものであり、本市と企業立地に関する基本協定を締結し、平成 23 年 8 月 1 日に「福島イノベーションセンター」開設以来、本市の産業振興、雇用創出施策の立案、スマートシティ関連プロジェクトの推進を支援していただいている、アクセンチュア株式会社のご協力をいただいたものです。

今後につきましては、別紙（裏面）の基本的な合意事項に沿って、具体的な取組内容の協議を行いながら進めてまいりたいと考えており、加えて、本市と同様に、歴史的な観光都市であり、農業も盛んなアムステルダムとの間において、まちづくり全般にかかる情報共有、交流が図られることを期待するものです。

問合せ先：（事務担当）会津若松市企画政策部企画調整課 佐藤、田熊、馬場
TEL：0242-39-1201、FAX：0242-39-1400
E-mail：kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

オランダ Amsterdam Economic Board（アムステルダム経済委員会）と
会津若松市の
スマートシティ推進にかかる主な連携合意事項

1. スマートシティ全般に関する下記の領域における知識の共有

- 双方のプロジェクトで開発したスマート製品・ソリューションの技術・運用情報等
- 相互のプロジェクトで開発したオープン API（Application Programming Interface）の使用、技術ドキュメント等
- スマートシティにおいて収集されるビッグデータのアナリティクス手法等
- 両地域の学術機関の研究者および研究成果の交流
 - ・スマートシティ事業を通じた、地域企業、市民の参画のあり方等
 - ・スマートシティにおける持続的可能な財政モデルの構築

2. 「スマートアグリ」、農業の ICT 化の推進に関する下記の領域における知識の共有

- 両地域の学術機関の研究者および研究成果の交流
- 農業の ICT 活用に関する技術、ビジネスモデル等の知見等
- トラッキング（追跡）システムと e コマースツールの開発等に関する技術、手法等